

令和 6 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	A事業所のみを有する特定事業者
II 類	B事業所を有する特定事業者(III類の事業者を除く)
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名		株式会社マルエツフレッシュフーズ	
所在地		東京都豊島区東池袋5-51-12	
事業者番号		0524	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)		2,701	kL／年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床 面積10,000㎡以上の事業所)			㎡
産業分類名 (中分類)		09 食料品製造業	
分類番号 (中分類)		09	
事業活動の概要	事業内容		■設立年月日：2010年4月28日 ■事業内容：生鮮加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売
	区分		企業
	前年度	資本金	50 百万円
		従業員数	1,100 人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)			

（３）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
Bテナント等	052401	株式会社マルエツフレッシュフーズ 三郷事業所	2,560
A	052400	株式会社マルエツフレッシュフーズ 草加事業所	141
B、C事業所			
合 計			2,701

（４）公表方法

○	インターネット利用による公表	ア ド レ ス	https://www.maruetsu.co.jp/corporate/environment/pdf/ondanka_saitama3.pdf
	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合 は別様としてください)	閲 覧 場 所 1	
		所 在 地 1	
		閲 覧 可 能 時 間 1	
		閲 覧 場 所 2	
		所 在 地 2	
		閲 覧 可 能 時 間 2	
	その他		

（５）公表の担当部署

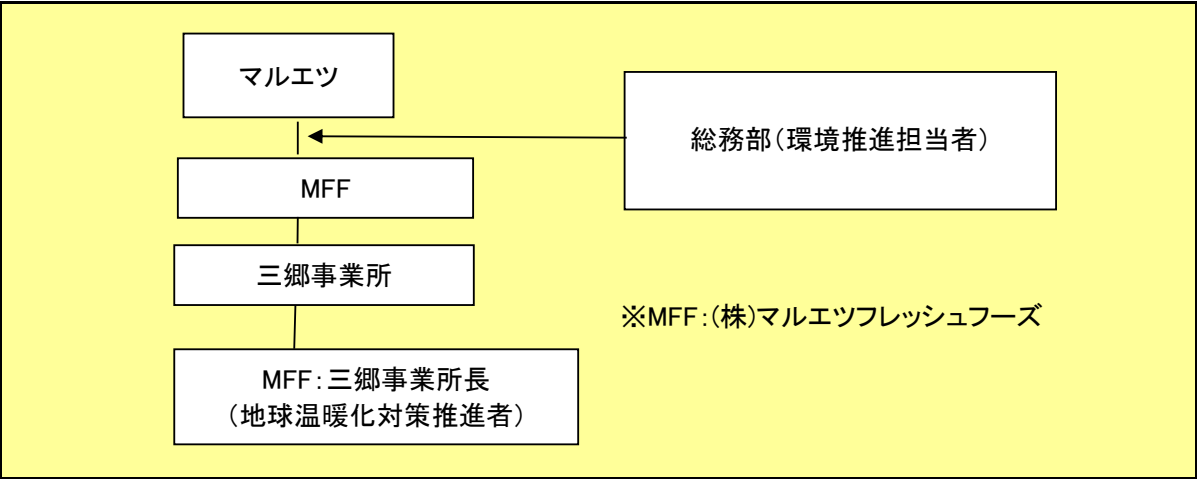
名 称 (複数可)		連 絡 先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	株式会社マルエツ 総務部	03-3590-1112	
2			
3			

※ 事業者のアドレスとする（個人が特定できるアドレスは記入しないこと）

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

マルエツグループ 環境基本方針
(別紙参照)

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	5,119	5,204	2,968	4,267	
その他のガス					
温室効果ガスの計	5,119	5,204	2,968	4,267	

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推進者所属部署	三郷事業所
	推進者職名	所長
	推進者氏名	星野 晃一
推進者 連絡先 (複数選任している場合)	推進者所属部署	048-949-7661
	推進者職名	
	推進者氏名	

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者所属事業者名	株式会社マルエツ
	担当者所属部署	総務部
	担当者職名	
	担当者氏名	佐川 美香
	郵便番号	1708401
	所在地	東京都豊島区東池袋5-51-12
	電話番号	03-3590-1112
	FAX番号	03-3590-2683
	E-mailアドレス	sagawa-mika@maruetsu.co.jp

文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者所属事業者名	株式会社マルエツ
	担当者所属部署	総務部
	担当者職名	
	担当者氏名	佐川 美香
	郵便番号	1708401
	所在地	東京都豊島区東池袋5-51-12
	電話番号	03-3590-1112
	FAX番号	03-3590-2683
	E-mailアドレス	sagawa-mika@maruetsu.co.jp

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

令和

6

年度

事業者番号0524事業所番号052401

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

（1）事業所種別

事業所種別	Bテナント等 … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL以上であり、他の事業所の一部である事業所
Bテナント等	

（2）事業所及び事業内容

事業所名	株式会社マルエツフレッシュフーズ 三郷事業所			
事業所所在地	市区町村	三郷市		
	字・地番	インター南1-3-1		
当該事業所を含む事業所の名称 （※Bテナント等の場合のみ記入）	国分・マルエツ 三郷流通センター			
産業分類名（中分類）	09 食料品製造業			
分類番号（中分類）	09			
事業活動の概要	■事業内容：生鮮加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売） ■従業員数：370人（2024年2月現在）			

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

（1）第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ （必須）	基準となる排出量	5,025	t-CO2	基準となる原単位	83.7500 t-CO2/百万バツク/年
		令和元年度の原単位83.75を基準として、原単位毎年1％削減を目標とします。				
	その他ガス					

（2）第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ （必須）	基準となる排出量		t-CO2	基準となる原単位	
	その他ガス					

Bテナント等事業所の場合は本ページは入力不要です。

番号	事業所名	所 在 地
1	株式会社マルエツフレッシュフーズ 三郷事業所	三郷市インター南1-3-1
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
	2,657	2,662	2,572	2,560	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基 準	5,025	5,119	5,204	2,968	3,990
	前 年 度 比 （ % ）	—	1.7	-43.0	34.4	
	基 準 となる 排出量 に対する 削 減 率 （ % ）	-1.9	-3.6	40.9	20.6	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		5,119	5,204	2,968	3,990	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排出量原単位	基 準	81.2540	88.2034	53.9636	66.5000	
	前 年 度 比 （ % ）	—	8.6	-38.8	23.2	
	基 準 となる 原単位 に対する削減率 （ % ）	3.0	-5.3	35.6	20.6	
活 動 規 模 の 指 標 単 位		63.00	59.00	55.00	60.00	
出 荷 数		百万パック/年				

（４）エネルギー起源ＣＯ₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	新型コロナウイルス感染症の影響で内食傾向がより、製造パック数伸長は、精肉事業部で前年比103.1%、鮮魚事業部で106.7%、事業所計で104.5%と伸長したため、原単位では目標達成となった。結果、空調機及び製造設備機器のエネルギー使用量が多くなり、総排出量については増加につながった。一方、生産性が大きく改善したことにより、原単位については総排出量の増加率と比較し大きく改善した。
令和３年度 (2021年度)	・気温の変化（特に、夏季の気温上昇）により、冷凍冷蔵区画の保冷に必要なエネルギーが増大した。 ・共用部エリア（バース、緑地帯、外灯等）の照明をLEDタイプへ交換し（2021年12月）、消費電力の軽減を図った。 ・全体的には、気温上昇の寄与は大きく、消費エネルギーが微増し、製造パック数も前年度93.7%と減少した為、原単位についても悪化した。
令和４年度 (2022年度)	感染症対策の継続により、換気対応を行う為度合い開放を継続するため、空調効率の悪化が継続したが以下の対策等により排出量が減少した。 ・21年12月照明をLEDタイプへ交換により、玄関LED化が完了し消費電力の軽減を図った。 ・加工場内の温度設定対応について、加工がない時間帯の温度設定を高められる限界温度の設定をすることで消費電力の低減を図った。 ・全体的には、気温上昇の寄与は大きく、消費エネルギーが微増し、製造パック数も前年度94.2%と減少した為、使用電力も結果削減された。 ・再生可能エネルギーの購入
令和５年度 (2023年度)	製造パック数が前年度比109%と伸長した結果、原単位では目標達成となった。昨年度に引き続き、温度設定管理の徹底など消費電力の低減を図り、消費エネルギー量は微減となったが、再生可能エネルギーの購入が前年60%から今年度30%へ減のため、目標は達成しているがCo2排出量が前年度と比較して増加した。
令和６年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	所長を体制の責任者とし、各部署の長と連携して削減計画を実施する。		R2	
2	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	管理標準による設備単位のエネルギー管理を実施する		R2	
3	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	主要設備の電気、ガスのエネルギー使用量の記録を毎月実施する。		R2	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房設定温度を実温管理とする		R2	25.0
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備のフィルター清掃、室外機の洗浄を定期的に実施する		R2	10.0
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ガスヒートポンプの運転管理規定の作成		R2	
7	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーの定期点検を実施し、エア漏れを防ぐ		R2	2.0
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	稼動時以外の消灯の実施		R2	1.0
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	蛍光灯設備のLED照明への転換		R3	1.0
10	170300	負荷平準化	17_新エネルギー	再生可能エネルギーの購入	R4	R4	
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

--

令和

6

年度

事業者番号0524事業所番号052400

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	
A	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	株式会社マルエツフレッシュフーズ 草加事業所		前年度における事業所数	1
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村	草加市		
	字 ・ 地 番	柿木町宝1338-11		
当該事業所を含む事業所の名称 （※Bテナント等の場合のみ記入）				
産 業 分 類 名 （ 中 分 類 ）	09 食料品製造業			
分 類 番 号 （ 中 分 類 ）	09			
事 業 活 動 の 概 要	■事業内容：惣菜加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売） ■従業員数：300人（2024年3月現在）			

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		5	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO2	基準となる原単位	1,978.5714 t-CO2/百万パック/年
		草加デリカセンターはR6年3月6日に稼働開始したため、R 5年度の原単位1978.5714を基準として、原単位毎年1%削減を目標とします。				
	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO2	基準となる原単位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	株式会社マルエツフレッシュフーズ 草加事業所	草加市柿木町宝1338-11
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
				141	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基 準				277	
	前 年 度 比 （ % ）	—				
	基 準 となる 排出量 に対する 削 減 率 （ % ）					
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計					277	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基 準				1,978.5714	
	前 年 度 比 （ % ）	—				
	基 準 となる 原単位 に対する削減率 （ % ）				0.0	
活 動 規 模 の 指 標		単 位				
出 荷 数		百万パック/年			0.14	

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	
令和3年度 (2021年度)	
令和4年度 (2022年度)	
令和5年度 (2023年度)	草加デリカセンターは令和6年3月6日より稼働開始しました。
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	所長を体制の責任者とし、各部署の長と連携して削減計画を実施する。	R6		
2	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	管理標準による設備単位のエネルギー管理を実施する	R6		
3	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	主要設備の電気、ガスのエネルギー使用量の記録を毎月実施する。	R6		
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房設定温度を実温管理とする	R6		
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備のフィルター清掃、室外機の洗浄を定期的実施する	R6		
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ガスヒートポンプの運転管理規定の作成	R6		
7	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーの定期点検を実施し、エア漏れを防ぐ	R7以降		
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	稼動時以外の消灯の実施	R6		
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	蛍光灯設備のLED照明への転換	R6		
10	170300	負荷平準化	17_新エネルギー	再生可能エネルギーの購入	R7以降		
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

--